

Athena Press アメリカ研究基本文献シリーズ

ATHENA LIBRARY OF AMERICAN STUDIES

ALAS
25-27

2023

Parts 25-27: アメリカン・ガイド・シリーズ「北東部1-3」

ニューディール政策期のアメリカ
— 連邦作家計画のアメリカン・ガイド・シリーズ —



Part 25: Volumes 93—95: American Guide Series, 1st Series (Northeastern States 1)

ISBN 978-4-86340-360-4・菊判 [全3巻+CD-ROM(大型地図)] 定価 本体 79,000円+税

Part 26: Volumes 96—98: American Guide Series, 2nd Series (Northeastern States 2)

ISBN 978-4-86340-364-2・菊判 [全3巻+CD-ROM(大型地図)] 定価 本体 87,000円+税

Part 27: Volumes 99—101: American Guide Series, 3rd Series (Northeastern States 3)

ISBN 978-4-86340-368-0・菊判 [全3巻+CD-ROM(大型地図)] 定価 本体 92,000円+税

*CD-ROMは共通です。Vols 93-101の各州の大型地図(18枚)が収録されています。

Athena Press

「公共事業促進局」(WPA)と「連邦作家計画」(FWP)及び本書の内容

「公共事業促進局」(Works Progress Administration, WPA)は、ニューディール政策期にアメリカ政府が雇用促進を目的に発足した政府機関です。

大恐慌時代、フランクリン・ローズヴェルト大統領により発足し、1943年までに数百万の失業者を、公共事業を通じて雇用し全米各地の地方経済に影響を与えた、ニューディール政策における最大かつ最も重要な機関と言えます。

そのプロジェクトの一部である「連邦作家計画」(Federal Writers' Project, FWP)によって編纂された『アメリカン・ガイド・シリーズ』の北東部(ニューイングランド州とミッド・アトランティック州)の9冊を、Athena Library of American Studiesに加えました。

ローズヴェルト大統領はジャーナリストで劇作家のヘンリー・アルスバークにプロジェクトの責任者として協力を求めます。FWPは、作家、編集者、ジャーナリスト、図書館員、研究者を含む数千人の失業者を雇用し、中にはリチャード・ライト、コンラッド・エイケン、ジョン・チーヴァー、ソール・ペロー、ケネス・ロクスロス、ゾラ・ニール・ハーストン、マーガレット・ウォーカー、ラルフ・エリソン、ネルソン・オルグレンなどの作家も登用されます。

現在の観光用ガイド・ブックとは異なり、各巻500から900ページの大著となります。各州及び主要都市・町の歴史を詳細に説明しただけでなく、文化、文学、芸術、自然環境、民族、政治、農業・工業及び商業、交通、教育、宗教、ジャーナリズム(新聞・ラジオ)、工芸品、スポーツ、レクリエーションなど総合的な内容で、まさに第二次世界大戦開始時の各州に関する百科事典的要素を持つ一次資料です。

また、当時は移民やアフリカ系アメリカ人を含む、州に住む人々のさまざまな文化についてのエッセイを含めることは前例のないことでした。

ガイド・ブックとしても、重要な観光スポットの自動車ツアー(高速道路沿いの名所)、写真のポートフォリオと各州の大型地図、年間行事カレンダー、歴史年表、参考文献で構成されており、さらに巻末には広範なインデックスがあり利用者の便宜が図られています。

Part 25: Volumes 93-95 [全3巻+CD-ROM(大型地図)]

ISBN 978-4-86340-360-4・菊判・定価 本体79,000円+税

Volume 93: Maine: A Guide "Down East" (1937)

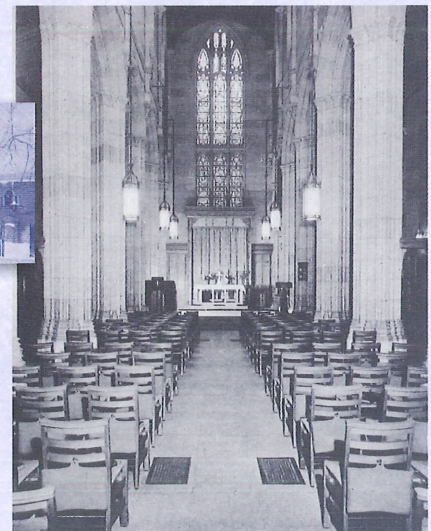
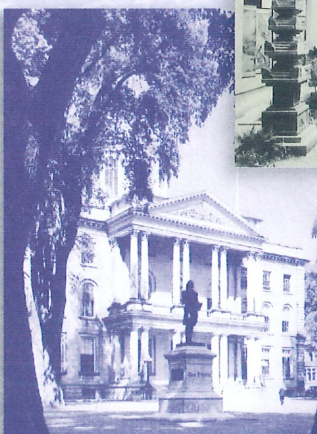
ISBN 978-4-86340-361-1・582 pp.・26,000円+税

Volume 94: Vermont: A Guide to the Green Mountain State (1937)

ISBN 978-4-86340-362-8・502 pp.・25,000円+税

Volume 95: New Hampshire: A Guide to the Granite State (1938)

ISBN 978-4-86340-363-5・670 pp.・28,000円+税



Part 26: Volumes 96-98 [全3巻+CD-ROM(大型地図)]

ISBN 978-4-86340-364-2 • 菊判 • 定価 本体87,000円+税

Volume 96: *Massachusetts: A Guide to Its Places and People* (1937)

ISBN 978-4-86340-365-9 • 792 pp. • 32,000円+税

Volume 97: *Rhode Island: A Guide to the Smallest State* (1937)

ISBN 978-4-86340-366-6 • 616 pp. • 26,000円+税

Volume 98: *Connecticut: A Guide to Its Roads, Lore, and People* (1938)

ISBN 978-4-86340-367-3 • 708 pp. • 29,000円+税



Part 27: Volumes 99-101 [全3巻+CD-ROM(大型地図)]

ISBN 978-4-86340-368-0 • 菊判 • 定価 本体92,000円+税

Volume 99: *New York: A Guide to the Empire State* (1940)

ISBN 978-4-86340-369-7 • 894 pp. • 32,000円+税

Volume 100: *New Jersey: A Guide to Its Present and Past* (1939)

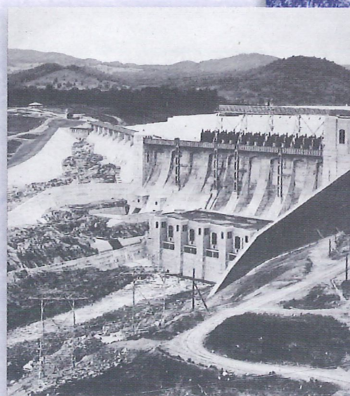
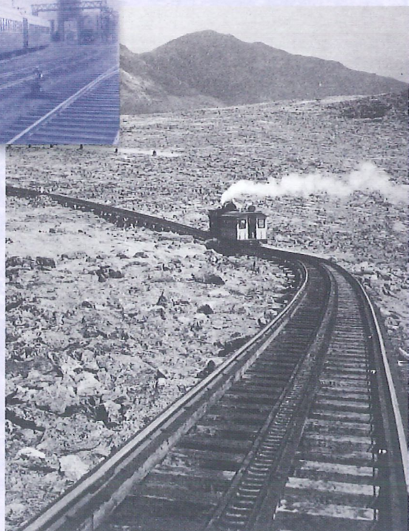
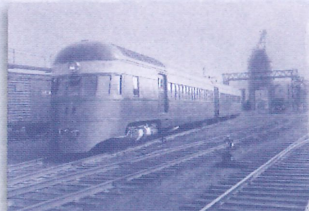
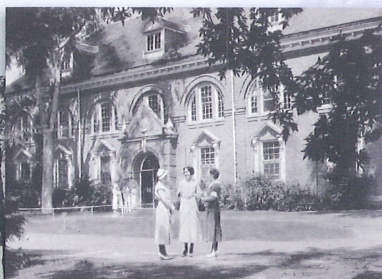
ISBN 978-4-86340-370-3 • 768 pp. • 30,000円+税

Volume 101: *Pennsylvania: A Guide to the Keystone State* (1940)

ISBN 978-4-86340-371-0 • 772 pp. • 30,000円+税



※CD-ROMは共通です。Vols 93-101の各州の大型地図(18枚)が収録されています。
単冊での分売にもCD-ROMもお付け致します。



文学者が作ったアメリカ

巽 孝之 ● 慶應義塾大学名誉教授 / 慶應義塾ニューヨーク学院長

アメリカ文学研究を専攻して40年以上の歳月が流れた。1980年代中葉にはニューヨーク州北部のイサカにあるコーネル大学大学院で約三年を過ごし、以後もフルブライトの援助やサバティカルなどで長期滞在したことは少なくない。そして昨年2022年からはニューヨーク州とコネチカット州のほぼ州境に位置する学園に勤務して、一年半以上が経った。自他ともに認める「アメリカニスト」なのである。

ところが——今回はマンハッタンから車ないし電車で40分から1時間というロケーションに暮らしているせいか、19世紀アメリカ・ロマン派草分けの文豪ワシントン・アーヴィングの重厚な『ニューヨーク史』（1809年）をひもとくことが多くなり、これまで通り一遍の知識しかなかったニューヨーク州が、思いのほか複合的な成り立ちをしてきたことを、改めて実感した。

たとえば、現在の勤務先はニューヨーク州とコネチカット州の州境に接するウェストチェスター郡ハリソンに位置しているので、マンハッタンからそこを目指すならば、「アン・ハッチソン・リバー・パークウェイ」という名の高速道路を利用せざるを得ない。アメリカ文学史に親しんできた読者はギョッとするだろう。そう、17世紀前半に活躍したアン・マーベリー・ハッチソン（1591-1643年）は、教会という制度が要請する「業の契約」とそれを唱える牧師たちを批判し、個人と神の間のみで「恩寵の契約」を結ぶべく自宅で聖書を学ぶ会（ブッククラブ!）を行うという暴挙に出たがためにピューリタン聖職者たちの反発を買ひ、いわゆる反律法主義論争（アンチノミアン・コントロールシー）、つまり異端審問（1636-38年）の被告となり、ついには破門されてマサチューセッツ植民地の隣のロード・アイランド植民地へ放逐された女性なのだから。1642年に夫が亡くなってからは、より暮らしやすい場所を求めてニューイングランドを離れ、ニューヨーク州東部の川沿いのペラムに居を移す。ところが1643年、原住民のマンハッタン族に家族丸ごと虐殺されてしまう。当時、現在のニューヨーク・シティを「ニュー・アムステルダム」と名づけ勢力を誇ったオランダ系とその子孫は、そんなハッチソンを不憚に思い、彼女をリベラル・イデオロギーの起源として称えるようになり、その結果、20世紀には彼女の名を冠した高速道路がもたらされる運びとなったのだ。

そればかりではない。現在では2001年の9.11同時多発テロ現場付近として知られる世界最大の金融街ウォール街が、いったいなぜこのように命名されたか。そのゆえんはオランダ系の猛者ピーター・ストイヴェサントが1647年にニュー・アムステルダム総督に任命され、1653年にはニューイングランド系の猛攻に対抗するため、万里の長城にも喩えられる文字通りの「防壁」（ウォール）を、今日のマンハッタン南端に半マイルほども張り巡らせたことにある。その名はオランダ



系とイギリス系の激越な闘争の名残りにほかならない。

このたびお目見えする「連邦作家計画のアメリカン・ガイド・シリーズ：北東部」は、そうした植民史をも踏まえながらニューイングランド諸州（メイン州、ヴァーモント州、ニューハンプシャー州、マサチューセッツ州、ロードアイランド州、コネチカット州）とミッド・アトランティック諸州（ニューヨーク州、ニュージャージー州、ペンシルヴェニア州）を活写し、それぞれの州の個性をくっきりと浮かび上がらせてくれる。

ここで注目すべきは、シリーズ各巻が、タイトルにいう「ニューディール政策期のアメリカ」において成立したということだ。それは1929年10月29日に株式市場が大暴落し、いわゆる大恐慌時代が始まってからというもの、1933年に第32代大統領となったフランクリン・デラノ・ローズヴェルト大統領の新規巻き直しによる、ケインズ流の経済政策により合衆国全体が国家再建を測っていた時代をさす。

その中心を担ったのが、1935年に発足した「公共事業促進局」（Works Progress Administration）、別名「雇用推進局」なる機関である。それまでのアメリカは国家による市場介入を最低限にとどめる自由主義だったが、大恐慌時代には政府が市場経済に積極的に関与する国家資本主義を標榜するようになり、失業者に対し手当給付したり生活保護したりするのではなく、むしろ失業者を大量雇用する公共事業を一気に拡大していく。この過程で生まれたのが、アメリカ作家の登用計画である。

なにしろリチャード・ライトからジョン・チーヴァー、ソール・ペロー、ケネス・ロクスロス、ゾラ・ニール・ハーストン、さらにネルソン・オルグレンに及ぶ、今日でも広く親しまれているアメリカ作家たちが、各州の主たる共同体における土地柄から人柄までを生き生きと描き出し、まさにアメリカ全体が経済的奈落の底へ突き落とされていた時代に、その魅力を再評価しようとしたのだから、読みごたえ充分。しかも、その達者な記述に触れるなら、このシリーズは最終的に一種の観光ガイドとして人々を各地への旅行へ誘い出し、まさにそれによって国家全体の経済的再活性化を図っただろう。今日われわれの知っているアメリカ北東部各州のイメージは、まさに大恐慌とニューディール政策期という困難な時代だったからこそ、当時を代表する文学的才能が集って筆を競い合い、その結果作られたものかもしれない。

【発行】

Athena Press

株式会社 アティーナ・プレス



〒112-0011 東京都文京区千石4-33-18

Tel: 03(3946)2117 Fax: 03(5977)8026

E-mail: eigyo@athena-press.co.jp

http://www.athena-press.co.jp

【取扱書店】